

# ことねぎだより

2018年4月号 NO.131 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

先月より日増しに気候が暖かになり、今、雨が降ったらいいなと思った頃合いに恵の雨が畑を潤す。自然の変化に悩まされるものの、その分より強く有り難みを感じます。年が明けてからの約三ヶ月、多くのお客様にご迷惑をおかけしました。また、力不足な私たちに様々なかたちでご協力いただけたりと、支えていただいている有り難みを強く感じることもできました。現在、ねぎの生育は順調、畑も回復しています。お待たせしている皆様へ九条ねぎをお届けし、ご迷惑かけてしまった分を取り戻していけるよう、会社一丸となり取り組んで参ります。

今月のことねぎ

日増しに春めく暖かな気候のおかげで、先月頃より市内の畑で育った春葱のお届けです。寒い冬の間、じつくりと時間がかかりながら、最後の最後に春の日差しを浴びて育ちました。辛い時期を越えて、私たち農人の思いも詰まっています。春の訪れの喜びに感謝する春葱。



- 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

## 今一度みなさまにお伝えする、当社の商品について「JGAP」認証の九条ねぎ

まず、「JGAP」とは「**食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証**」のことを言います。生産管理に関することはもちろん、機械や肥料類の管理環境、書類の管理、労働環境に関することまで、約100以上の審査項目があり、それらを指摘いただき正していき認証を得ることができます。お客様にお届けする農産物は、こうした管理のもとで作られ安全であることを証明しています。こと京都では「JGAP Advance」という更に上の認証で取り組んでおり、お客様に信頼いただける農産物を作っていきます！



\*JGAP 認証は、オリンピック選手村使用基準として用いられています



京都市内は桜も色付く頃、畑のねぎたちにとっても良い生育気温。ねぎの葉にも色がのってきていて、春の季節を畑で感じます。

### 辛い冬を越え、春から気持ち改めて



農人たち一丸となり、リーダーたちも生産数への意識が高まっています。これからの安定供給へ向けて、気持ち引き締めていきます！

農人たちは今回の冬を心苦しく思っており、以前にも増して生産管理に対する緊張感があります。現在、昨年作付けした春先のねぎを守りながら、夏前の収穫するねぎの定植をどんどん進めています。晴天には畝立て・追肥、雨天には冬の片付けを段取り良く作業に励む日々です。



被覆の回収・片付け



セルトレーの洗浄



収穫段取りの打ち合わせ

## 今の畑と農人たちの心配事



現在、美山の方では苗を守り、亀岡ではまだ気温が低い中、ネギを守り育てています。心配なことと言えば、暖かくなってきたことで葱坊主があがってくる時期になり、収穫する圃場選びや加工部での調整に手間がかかるという点です。春になると虫たちも活発に動き出し始める頃。日々のねぎの目利きに注意しています。